

AD-8125

ラベルプリンタ

取扱説明書

AND 株式会社 **イー・アンド・デイ**

ご注意

- (1) 本書の一部または全部を無断転載することは固くお断りします。
- (2) 本書の内容については将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容は万全を期して作成しておりますが、ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきの点がありましたら、ご連絡ください。
- (4) 当社では、本機の運用を理由とする損失、損失利益等の請求については、(3) 項にかかわらずいかなる責任も負いかねますのでご了承ください。

© 2004 株式会社 エー・アンド・デイ

株式会社エー・アンド・デイの許可なく複製・改変などを行なうことはできません。

目次

1. はじめに	2
1-1 概要	2
1-2 梱包品リスト	2
2. 各部の名称	3
3. 準備	4
3-1 電源の入れ方	4
3-2 用紙の入れ方	4
4. 設定	6
4-1 プリンタの設定（設定用ディップスイッチ）	6
4-2 はかり側の設定	7
5. 基本印字	8
6. 応用印字	9
7. メンテナンス	11
7-1 ヘッドクリーニング	11
7-2 用紙ガイドのはずし方	11
8. 仕様	12
9. 本体外形寸法	14

1. はじめに

1-1 概要

AD-8125 は、エー・アンド・デイ社製個数計 **FC-i/Si** シリーズをはじめとする計量器専用のラベルプリンタです。

このプリンタとの接続には、**RS-232C** インターフェースオプションが必要です。

このプリンタを用いると、**FC-i/Si** シリーズの計量結果を、日付、ID 番号、品名、重量値、個数、単位重量を印字したラベルに発行することができます。また、ID 番号、重量値、個数、単位重量のうち指定した1つをバーコードで印字できます。

使用できるラベル紙の大きさは、幅 **58mm** で、長さは **34/40/46mm** に設定できます。

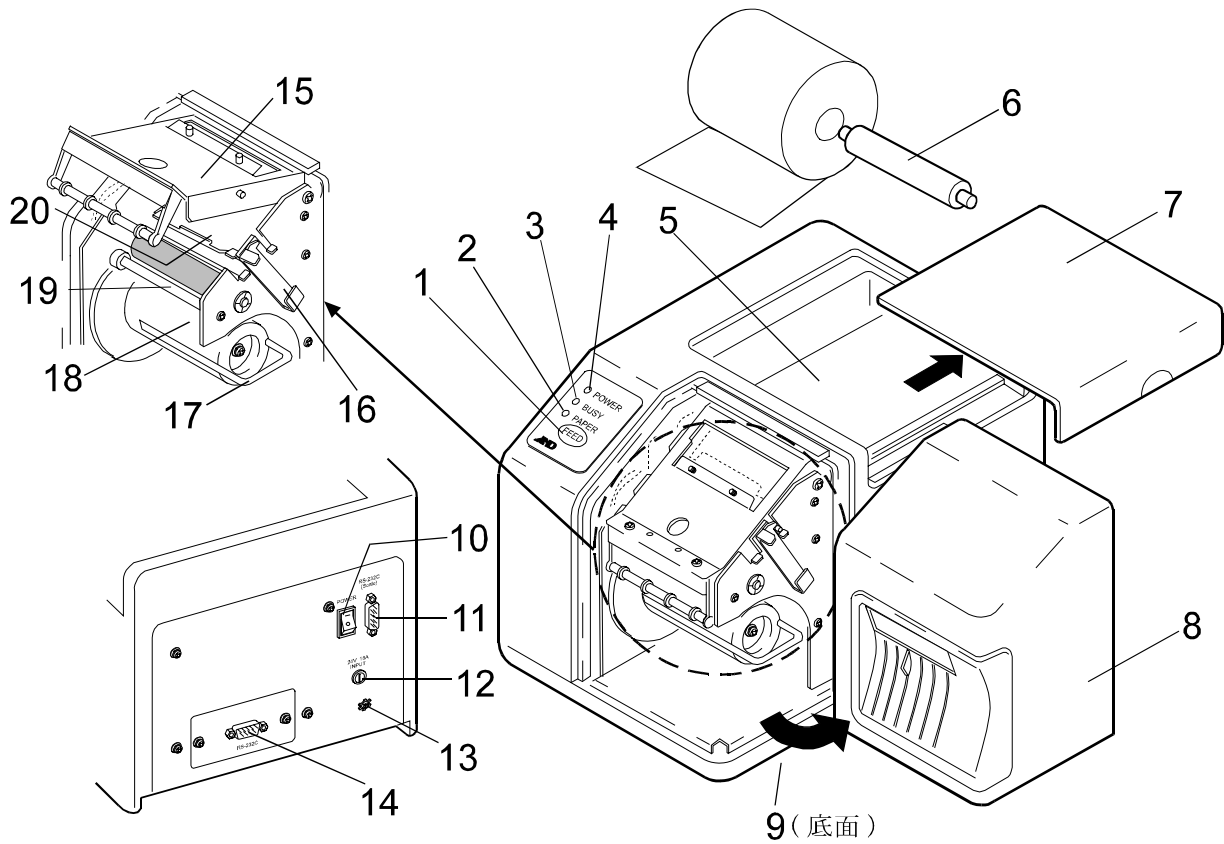
はかり側の **UFC** 機能を使用すれば、ラベル長さの任意設定や、データの印字位置の変更、余白部分に文字を描いてオリジナルデザインのラベルの製作ができます。

1-2 梱包品リスト

AD-8125 の出荷時の梱包品は、以下のとおりです。

本体	1
AC アダプタ (TB-220)	1
電源ケーブル	1
取扱説明書	1

2. 各部の名称



	名 称	機 能
①	FEED スイッチ	用紙を1ラベル分空送りします。
②	PAPER LED	用紙がなくなると点滅します。
③	BUSY LED	はかりとの通信状態を表わします。
④	POWER LED	電源が入っていると点灯します。
⑤	用紙ホルダ	
⑥	ロール芯	
⑦	用紙蓋	
⑧	前面カバー	
⑨	設定用ディップスイッチ	各種設定を行ないます。
⑩	POWER (電源) スイッチ	電源を入/切します。
⑪	はかり接続用 RS-232C コネクタ	はかりと接続します。
⑫	AC アダプタジャック	
⑬	アース端子	
⑭	保守用 RS-232C コネクタ	使用できません。
⑮	ヘッド部	
⑯	ヘッド固定金具	
⑰	用紙固定金具	
⑱	用紙巻取り芯	
⑲	ラベル剥離棒	
⑳	用紙ガイド	

3. 準備

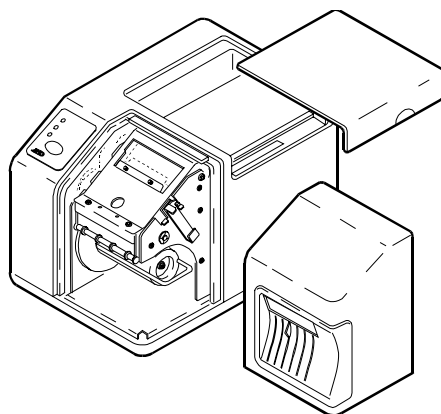
3-1 電源の入れ方

電源として、AC アダプタ (TB-220) を用います。付属の電源ケーブルを AC アダプタの電源端子に差し込み、反対側のプラグを AC コンセントに差し込みます。さらに、AC アダプタの出力ケーブルを本体の AC アダプタジャックに差し込みます。

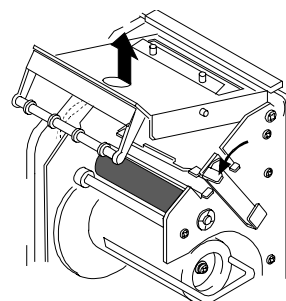
POWER スイッチを ON にして電源を入れます。

3-2 用紙の入れ方

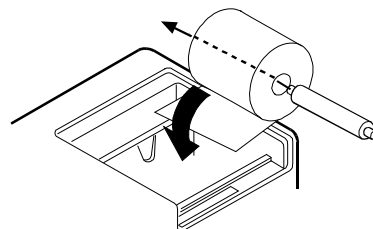
(1) 本体の前面カバー、用紙蓋をはずします。



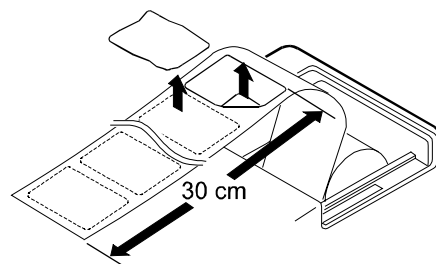
(2) ヘッド固定金具をはずして、ヘッド部を上げます。



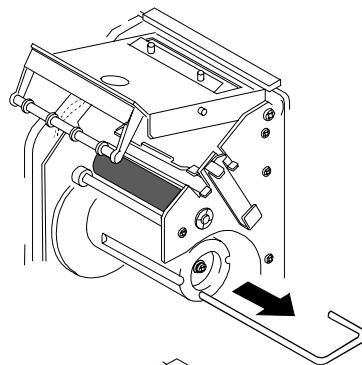
(3) 用紙にロール芯を通し用紙ホルダに入れます。
入れる方向は、下側から取り出すように入れます。



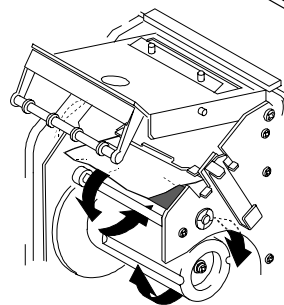
(4) 用紙の端からおおよそ 30cm までのラベルを剥がしておきます。



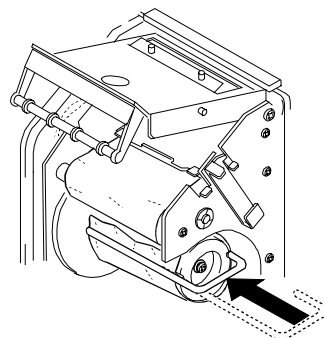
(5) 用紙巻取り芯の用紙固定金具を抜き取ります。



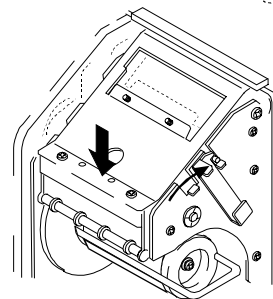
(6) 用紙を用紙ガイドに通し、ラベル剥離棒で折返して、巻取り芯に掛けます。



(7) 用紙を用紙固定金具で挟み固定します。
この時、用紙にたるみがないようにします。

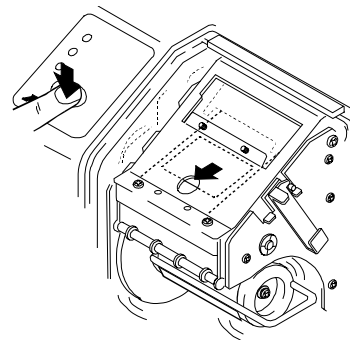


(8) ヘッド部をヘッド固定金具で固定します。
この時、ラベル紙がヘッド部の付近に残っていれば剥がしておきます。

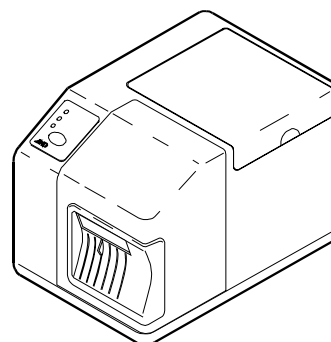


(9) 電源を入れます。
FEED スイッチを押して台紙を巻き取り、
ヘッド部の少し手前にラベルが来るようにします。

一旦電源を切り再び電源を入れると、自動的にラベルの先端を検出し、1枚空送りされます。



(10) 前面カバー、用紙蓋を閉じます。
ラベルの印字位置がずれている時は、電源を入れ直してください。



4. 設定

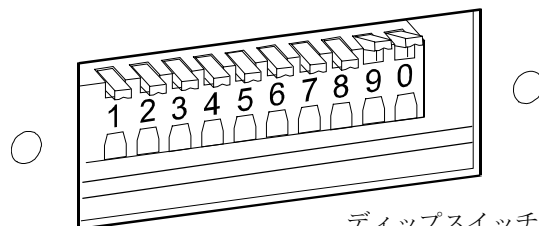
4-1 プリンタの設定（設定用ディップスイッチ）

⚠ 注意：設定用ディップスイッチの変更は、必ず電源を OFF にして行ってください。

スイッチ 10 は、スイッチ上では 0 と銘打ってあります。

設定用ディップスイッチは本体底面にあります。

白いプラスチックでカバーされていますのでプラスドライバーで開けてください。



ディップスイッチ（出荷時設定）

ディップスイッチの設定内容

はかりとの通信速度			
1	速度	スイッチ 1	備考
	2400bps	OFF	出荷時設定
	9600bps	ON	

ラベル紙の長さ				
2	長さ	スイッチ 2	スイッチ 3	備考
	34mm	OFF	OFF	出荷時設定
3	40mm	ON	OFF	
	46mm	OFF	ON	
	UFC 印字	ON	ON	

バーコードデータの選択（Code 39 で印字します。）					
4	印字フォーマット	スイッチ 4	スイッチ 5	スイッチ 6	備考
	バーコードなし	OFF	OFF	OFF	出荷時設定
5	ID コード（ヘッダーが“ID”）	ON	OFF	OFF	バーコードは、 FC- <i>i</i> /S <i>i</i> で 読み込み可能 なフォーマットで印 字されます。
	重量（ヘッダーが“WT”）	OFF	ON	OFF	
6	個数（ヘッダーが“QT”）	ON	ON	OFF	
	単位重量（ヘッダーが“UW”）	OFF	OFF	ON	
	風袋（ヘッダーが“TR”）	ON	OFF	ON	
	未使用	OFF	ON	ON	
	未使用	ON	ON	ON	

内部使用						
7	8	9	スイッチ 7	スイッチ 8	スイッチ 9	備考
			OFF	OFF	ON	出荷時設定
			内部で使用しています。 設定を変更しないでください。			

内部設定			
10	動作	スイッチ 10	備考
	データフォーマット（7bit Even parity）	OFF	
	データフォーマット（8bit Non parity）	ON	出荷時設定

4-2 はかり側の設定

ラベルプリンタを使って印字させるためには、はかり側で、出力方法、データ種類、データフォーマット、ボーレート等を設定する必要があります。

設定の詳細は各はかりの取扱説明書を参照してください。

設定例

FC-*i*/Si シリーズを標準シリアル出力で接続して、ID 番号、品名、個数、重量、単位重量を印字する場合、設定は以下のようになります。

①データ出力モード	キーモード	F-6-1=0
②出力データの選択		F-6-2=01111
③データフォーマット		F-6-3=2
④ボーレート		F-6-4=0
⑤キャラクタ長、パリティ	8bit/Non Parity	F-6-5=2

FC-*i*/Si シリーズとの接続には D-sub 9 ピンのストレートケーブルをご使用ください。

オプションケーブル : AX-KO2466-200 D-sub 9 ピン 2m

5. 基本印字

ラベルプリンタとはかりを接続して使用する基本的な操作方法です。

ラベル紙の長さは、**34mm**、**40mm**、**46mm** の 3 種類があります。

受信データを受信した順にラベルの左上から順に印字します。

ディップスイッチで指定したデータをバーコードで印字できます。

印字されるバーコードは、**Code 39** のみとなります。また、**FC-i/Si** シリーズで読み込み可能なフォーマットに自動変換されます。

設定例

ここでは、前項で述べた **FC-i/Si** シリーズと接続する場合の設定例を記します。

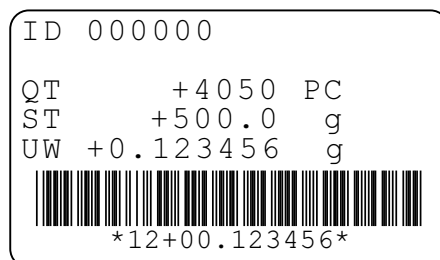
- (1) 本体底面のディップスイッチを設定します。（「4-1 プリンタの設定（設定用ディップスイッチ）」参照）

ボーレート (2400bps)	SW-1	OFF
ラベル紙の長さ (34mm)	SW-2	OFF
	SW-3	OFF
バーコードデータ (単位重量)	SW-4	OFF
	SW-5	OFF
	SW-6	ON
キャラクタ長、パリティ (8bit/Non parity)	SW-10	ON
(内部使用 変更しないでください。)	SW-7	OFF
(内部使用 変更しないでください。)	SW-8	OFF
(内部使用 変更しないでください。)	SW-9	ON

- (2) はかりのファンクションを設定します。（「4-2 はかり側の設定」参照）

- (3) はかりで計量し、印字 キーを押すとラベルを発行します。

印字サンプル



6. 応用印字

以下の機能は、FC-i/Si シリーズのプログラムバージョン『2.10』以降のもので、UFC 機能を使用することにより対応しています。

発行するラベル上の各種データの配置をデザインすることができます。デザインの記述には以下のコマンドを使用します。

備考：FC-i/Si シリーズのプログラムバージョンは、電源を入れると最初に表示します。

受信データのフォーマット

1. データ印字

文字列データをそのまま印字する場合は、先頭に英大文字の“C”を付けます。

C、x x、y y、s、d d d d d d

C	受信した ASCII コードをキャラクタで印字します。	
x x	印字開始行	1 または 2 桁 (ラベルサイズによるラベル長 34mm で 1~7)
y y	印字開始桁	1 または 2 桁 (1~18)
s	文字サイズ	1 標準 (文字高 3mm) 2 大 (縦倍角)
d	データ	英数字、記号、カタカナよりなる ASCII コードの文字列

2. バーコード印字

文字列データをバーコードに変換して印字する場合は、先頭に英大文字の“B”を付けます。

B、x x、y y、c、n、d d d d d d d

B	受信した ASCII コードをバーコードで印字します。	
x x	印字開始行	1 または 2 桁 (ラベルサイズによるラベル長 34mm で 1~7)
y y	印字開始桁	1 または 2 桁 (1~18)
c	バーコードの種類	1 JAN/EAN-13 2 Code 39 3 UPC-A 4 UPC-E 5 Codabar (NW-7) 6 Matrix 2 of 5 7 ITF (Interleaved 2 of 5)
n	文字印字	0 なし 1 あり
d	データ	英数字、記号よりなる ASCII コードの文字列。ただし使用可能な文字はバーコードの種類に依存します。

3. 印字実行

受信したデータの印字を実行させる場合は、先頭に英大文字の“P”を付けます。

P、n

P	データ受信を完了し印字を開始します。
n	印字枚数 1~9

4. ラベルサイズ指定

ラベルサイズを変更する場合は、先頭に英大文字の“L”を付けます。

指定されたサイズは、ディップスイッチで UFC 以外が選択されるか、次回“L”コマンドを受信するまで保持します。ただし、指定された新しい長さが有効になるのは、次回電源 ON 時からとなりますので、必ず電源を一度 OFF にして再度 ON にしてください。

L、x x

L	ラベルの長さを指定します。
x x	ラベルの長さを 28~62 の mm 単位で設定します。

印字サンプル

受信データ:

C,1,7,2,AD-8125
C,3,4,1,Label Printer
C,5,2,1,e.g. Barcode ITF
B,6,6,7,1,123456789012
P,1

印字サンプル:



7. メンテナンス

7-1 ヘッドクリーニング

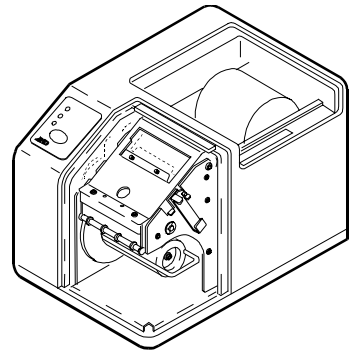
印字品質を保つために定期的にヘッド部のクリーニングを行なってください。

ヘッド部は、綿棒にアルコールを含ませ軽く拭いてください。

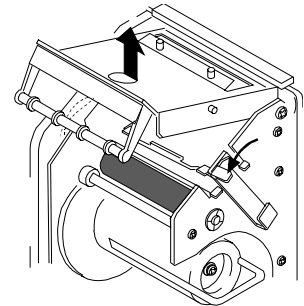
その他の部分は、乾いた布で軽く擦り、紙粉を取り除いてください。

7-2 用紙ガイドのはずし方

(1) 本体の前面カバー、用紙蓋をはずします。

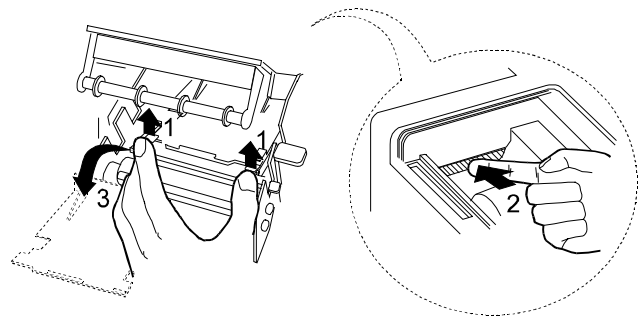


(2) ヘッド固定金具をはずして、ヘッド部を上げます。

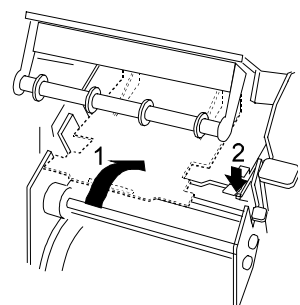


(3) 用紙ガイドの両端を指で持ち上げて爪をはずしながら、後側から軽く押して前にずらします。

(4) 用紙センサにぶつからない様に注意しながら前に引き出します。



(5) 入れる時は、用紙センサを避けながら滑り込ませ、後端が本体ケースの所まで入ったら前端的の爪に掛けます。



8. 仕様

一般仕様

電源	DC24V、2.5A
消費電力	待機時 : 10VA 印字時 : 60VA (印字率 50%の場合)
使用温度範囲	5°C~40°C ただし、結露なきこと
外形寸法	幅 178mm×奥行 242mm×高さ 158mm ただし突起物を含まず
重量	約 3.3kg

印字部

印字方式	ダイレクトサーマルラインドット方式
有効記録幅	56mm
印字密度	8ドット/mm
印字速度	最大 80mm/秒
バーコード種類	JAN/EAN-13、Code 39、UPC-A、UPC-E、Codabar (NW-7)、Matrix 2 of 5、ITF (Interleaved 2 of 5) Code 39 はラベル紙の幅を超えることがあります。
ラベル紙	幅 58mm 長さ 28mm~62mm (標準設定は 34,40,46mm)

インターフェース

伝送方式	RS-232C
伝送型式	調歩同期、半二重方式
伝送速度	2400bps、9600bps
データ	スタートビット 1、データビット 8、パリティなし、ストップビット 1 ASCII コード
コネクタ	D-SUB 9 ピン

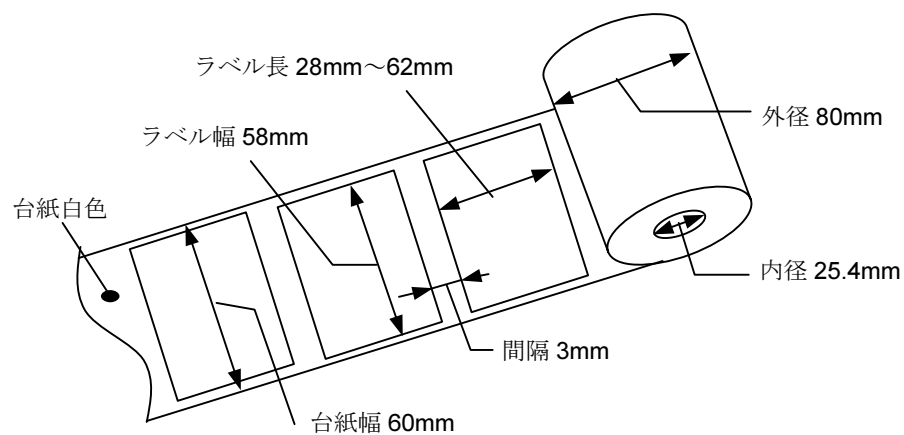
ピン番号	信号	備考
1	NC	
2	RXD	入力
3	TXD	出力
4	DTR	出力
5	GND	
6	DSR	入力
7	RTS	出力
8	CTS	入力
9	NC	

ラベル紙仕様

指定用紙	ラベル長 34mm	AX-PP158-34-S	(約 800 枚×5 ロール)
	ラベル長 40mm	AX-PP158-40-S	(約 700 枚×5 ロール)
	ラベル長 46mm	AX-PP158-46-S	(約 600 枚×5 ロール)

※枚数は目安です。

推奨感熱紙	LINTEC 社製 LD4131
ラベル紙	幅 58mm 長さ 34mm、40mm、46mm
台紙	幅 60mm 白色
巻取り最大径	φ 80mm
芯内径	φ 25.4mm
巻き方向	内巻き



9. 本体外形寸法

